

## 国内初「移動式防護柵(Road Zipper® System)」の試行導入について

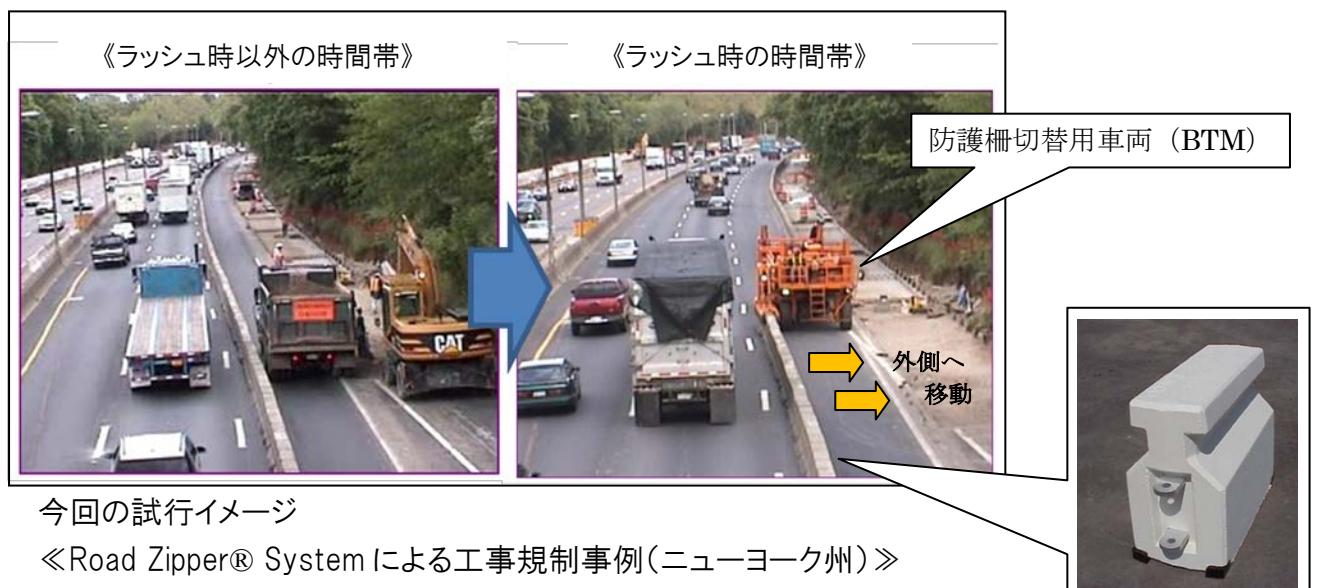
本線規制を伴う工事において、「一般車両の侵入事故防止等の安全対策」、「規制材設置・撤去作業の効率化」を目的に、欧米等で実績のある移動式防護柵(Road Zipper® System)※を日本の高速道路で初めて導入します。

導入にあたり、常磐道(柏~流山間)の工事にて試行し、その有用性について確認・検証を行います。

※LINDSAY社(米国)

### 1. Road Zipper® System とは

- Road Zipper® System は、コンクリート製防護柵を、専用の防護柵切替用車両(BTM: Barrier Transfer Machine)を用いて移動させることができるシステムであり、道路の混雑状況に合わせて、工事車線規制範囲を自在かつ安全に変えることが可能
- コンクリート製防護柵にてガードされた中の工事施工により、作業の安全性が向上



海外での活用事例《防護柵の切替状況》



《BTM: Barrier Transfer Machine》

## 2. 試行の概要

- 対象工事 常磐自動車道 初石BOXはく落対策工事
- 試行期間 H28年4月上旬～8月上旬(予定)
- 試行箇所 柏IC～流山IC(上り線)区間の工事車線規制箇所(約2km)
- 試行内容 現在行われているラバーコーンによる車線規制を、Road Zipper® Systemによる車線規制に変更し確認・検証を行う。  
重交通路線における工事規制渋滞を軽減するため、交通量が減少する夜間の時間帯において、交通量に応じて片側3車線の通行帯を2車線ないし1車線へ、安全かつ効率的に規制を行う目的で、本システムを試行する。

《現在の車線規制状況写真》



現在のラバーコーンによる規制⇒Road Zipper® Systemによる規制に変更

## 3. 今後の予定

- 2月下旬～3月下旬 BTM及びコンクリート防護柵の通関手続き、現場搬入
- 3月中 オペレータの実地訓練(公開予定)
- 4月上旬～8月上旬 現場での試行

以 上